

岡山県感染症週報

2011 年 第 52 週 (12 月 26 日～1 月 1 日)

岡山県は、インフルエンザ注意報発令中です。

◆2011 年 第 52 週 (12/26～1/1) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第 50 週 2 類感染症 結核 7 名 (20 代 女 3 名、30 代 女 1 名、50 代 女 1 名、60 代 女 1 名)

第 51 週 5 類感染症 後天性免疫不全症候群 1 名 (60 代 男)

の報告がありました。

■定点把握感染症の発生状況

○インフルエンザは、県全体で 747 名 (定点あたり 8.89 人) の報告があり、前週より増加しました。

○感染性胃腸炎は、岡山市・倉敷市・備前地域・美作地域で患者が多くなりました。

○マイコプラズマ肺炎は、減少しました。

1. **インフルエンザ**は、県全体で 747 名 (定点あたり 8.89 人) の報告があり、前週 (定点あたり 7.64 人) より増加しました。
患者の増加は、県内ほとんどの地域で見られ、特に倉敷市は第 47 週以降急速な増加がつづき、流行が拡大していますので感染予防に努めて下さい。県内の発生状況・臨時休業情報などは『[インフルエンザ情報](#)』をご覧ください。
第 51 週 (12/19～12/25) 速報値によると、全国では定点あたり 3.34 人であり、43 都道府県で前週よりも増加が認められたと報告されています。
2. **感染性胃腸炎**の定点あたり患者数は、県全体ではわずかに減少しました (定点あたり 11.41→11.13 人)。地域別では、岡山市 (10.21 人)、倉敷市 (13.27 人)、備前地域 (13.80 人)、美作地域 (14.00 人) で患者が多い状態です。詳しい県内の発生状況は『[感染性胃腸炎情報](#)』をご覧ください。
3. **マイコプラズマ肺炎**は、患者数が減少しました (基幹定点 5 医療機関あたり 3.00 → 0.40 人)。しかし、県内では 9 月頃から患者の多い状態で推移していますので、乾いた咳が長くつづく時は早めに医療機関を受診してください。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★★★	RSウイルス感染症		★★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★
感染性胃腸炎		★★★★★	水痘		★★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★	百日咳		★
ヘルパンギーナ		★	流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		★★
マイコプラズマ肺炎		★	クラミジア肺炎		

【記号の説明】

前週からの推移: 2 倍以上の減少 1.1～2 倍未満の減少 1.1 未満の増減

1.1～2 倍未満の増加 2 倍以上の増加

流行状況: 空白 発生なし ★僅か ★★少し ★★★やや多い ★★★★多い ★★★★★非常に多い

※定点当り患者数について、過去 5 年間の標準偏差値を 5 等分し、流行状況の目安として 5 段階で表示しています。

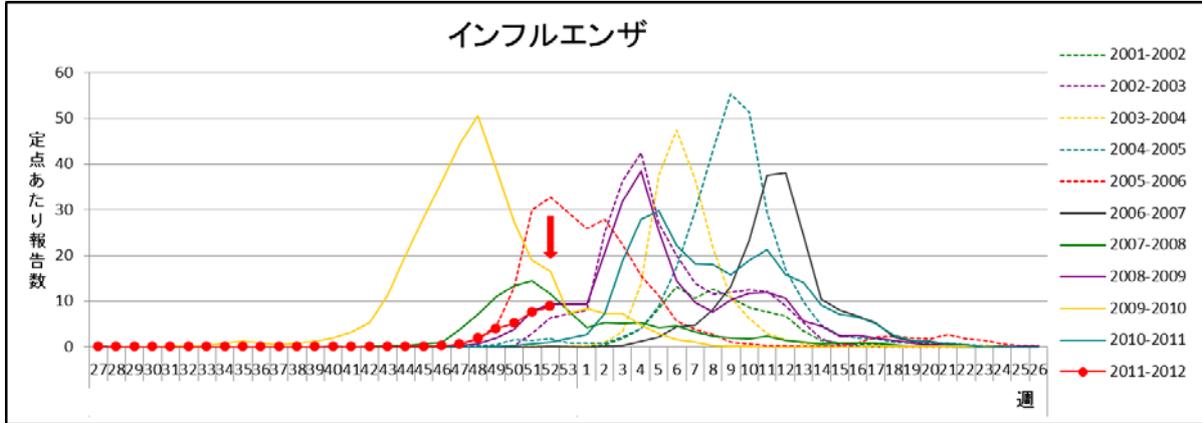
保健所別報告患者数 において **数字** は感染症マップにおいて レベル3
数字 は感染症マップにおいて レベル2 を示しています。

インフルエンザ情報 第 52 週 2011 年 12 月 26 日 ~ 2012 年 1 月 1 日

岡山県は、インフルエンザ注意報発令中です。

岡山県の流行状況

- 岡山県内の患者報告数は 747 名（ 定点あたり 8.89 人 ）の報告があり、前週より増加しました。
- 県全域で患者報告があり、ほとんどの地域で前週より増加しました。
- 特に倉敷市では、他の地域に比べ、患者の急増がつづいています。
- インフルエンザによる入院報告が、2 名ありました。



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、今年 27 週 ~ 翌年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

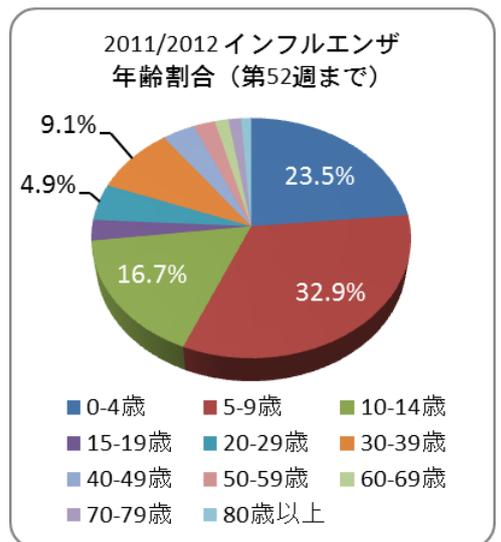
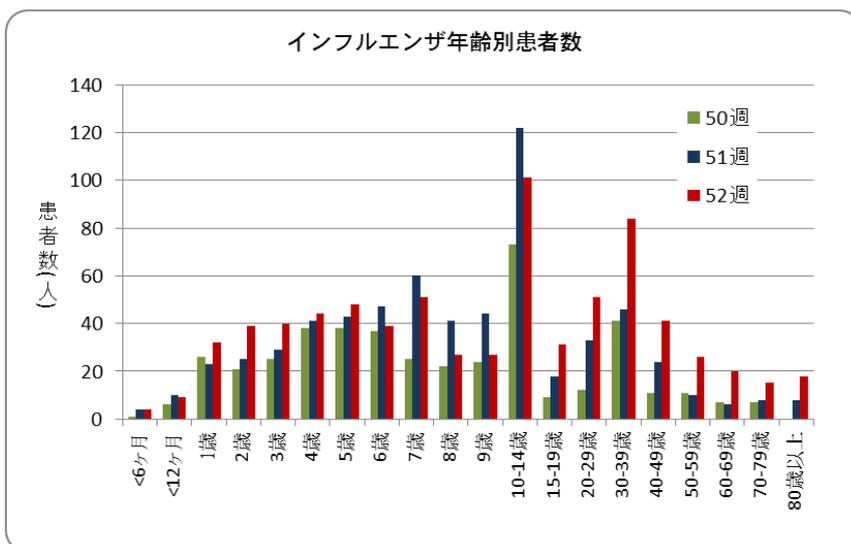
インフルエンザ患者数は 747 名（ 84 定点医療機関定点あたり 8.89 人 ）の報告があり、前週（ 642 名 定点あたり 7.64 人 ）より増加しました。倉敷市（ 29.94 人 ）、備中地域（ 9.17 人 ）、備前地域（ 4.40 人 ）、真庭地域（ 4.00 人 ）、岡山市（ 2.73 人 ）、備北地域（ 1.50 人 ）、美作地域（ 1.10 人 ）で報告がありました。患者報告が少なかった県北部でも徐々に増加しており、流行は県全体に広がっています。特に倉敷市では、他の地域に比べ流行が拡大しており、第 47 週以降患者の急増がつづいています。

インフルエンザによる入院患者が 2 名報告されました。

外出後や食事前の手洗いを徹底し、症状のある方はマスクを着用するなど咳エチケットに努めて下さい。

1. 年齢別患者発生状況 第 52 週（ 12/26~1/1 ）

患者は、幼稚園・小中学生にあたる年齢層で多く、半数を占めていますが、30 歳以上でも患者が増加しています。

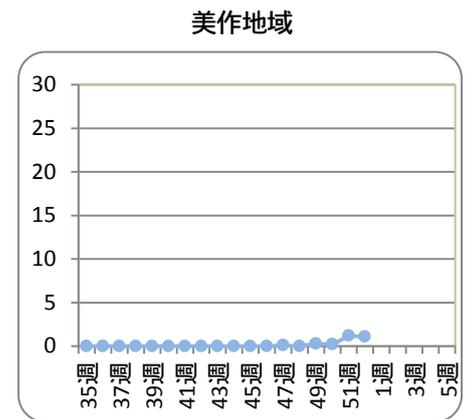
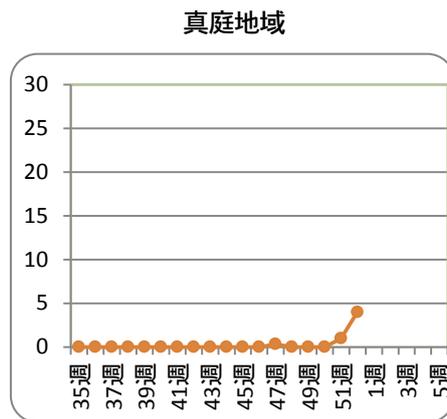
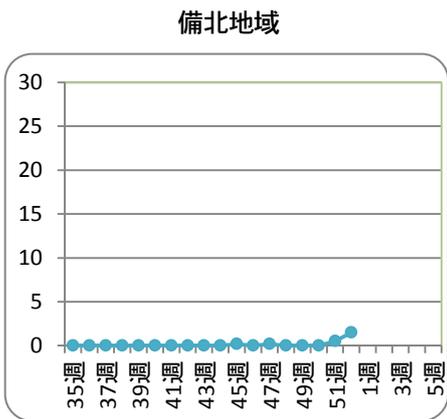
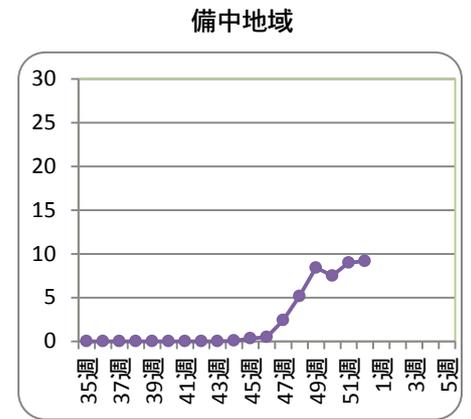
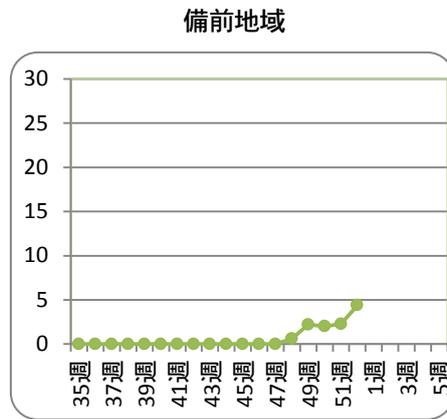
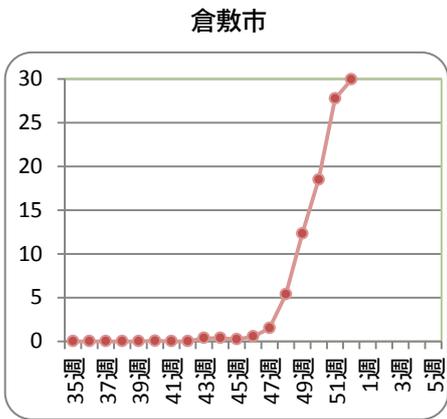
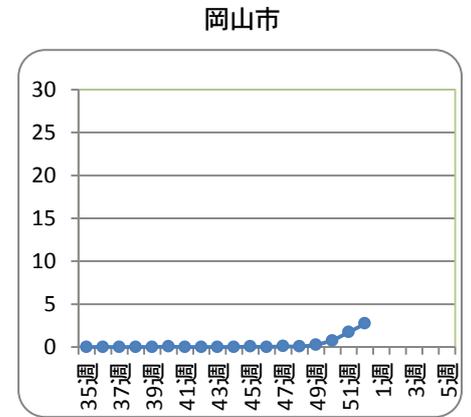
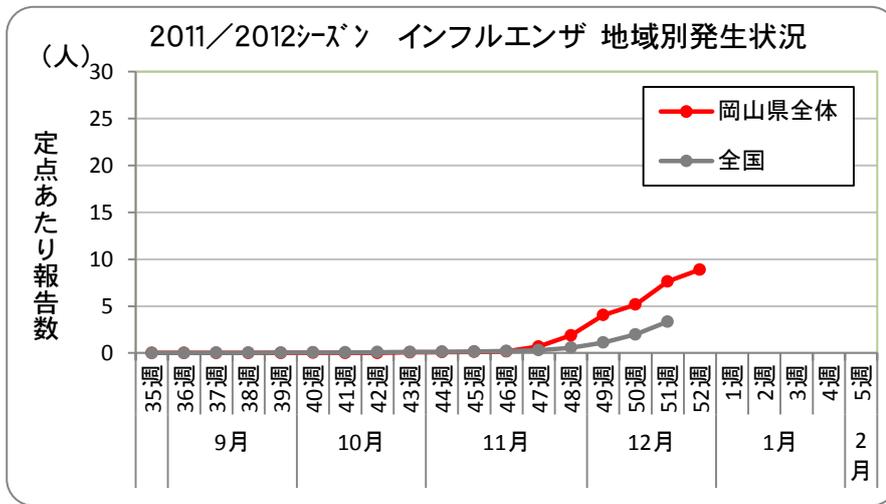


2. 地域別発生状況

第52週（12/26～1/1） 前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	747	↗	備 中	患者数	110	→
	定点あたり	8.89			定点あたり	9.17	
岡山市	患者数	60	↗	備 北	患者数	9	↗
	定点あたり	2.73			定点あたり	1.50	
倉敷市	患者数	479	↗	真 庭	患者数	12	↗
	定点あたり	29.94			定点あたり	4.00	
備 前	患者数	66	↗	美 作	患者数	11	↘
	定点あたり	4.40			定点あたり	1.10	

【記号の説明】 前週からの推移： ↓ 2倍以上の減少 ↘ 1.1～2倍未満の減少 → 1.1未満の増減
 ↗ 1.1～2倍未満の増加 ↗ 2倍以上の増加



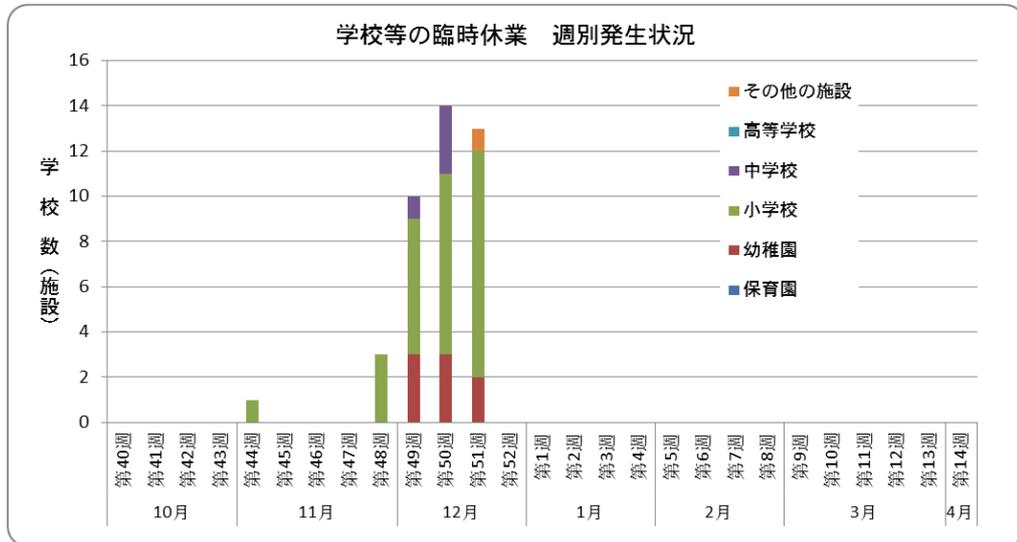
2. 臨時休業施設数の内訳 第52週（12/26～1/1）

第52週、学校等の臨時休業はありませんでした。

第52週：0施設

累計：41施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	—	8	—	28	—	4	—	—	—	1



➤ 入院時の状況と年齢別内訳の累計 第52週（12/26～1/1）まで

（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

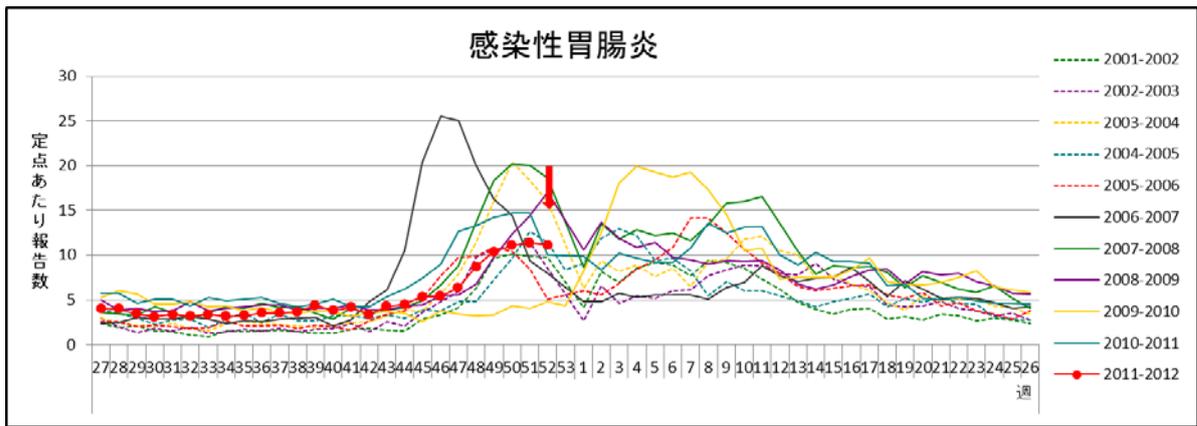
第52週、インフルエンザによる入院患者の報告が2名ありました。今シーズン、第52週までに5名の入院患者報告があり、そのうち4名は70歳以上です。特に、高齢者や慢性疾患・代謝疾患をお持ちの方、免疫機能が低下している方では、重症化することがありますので注意が必要です。

* 平成23年9月5日以降に入院した各患者の累計数

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
ICU入室	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
人工呼吸器の利用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
頭部CT検査 (予定含む)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—
頭部MRI検査 (予定含む)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—
脳波検査 (予定含む)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—
いずれにも該当せず	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	2	—
計(一部重複あり)*	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	2	2	—

感染性胃腸炎情報 第 52 週 2011 年 12 月 26 日～2012 年 1 月 1 日

- 岡山県内の患者報告数は 601 名、定点あたり 11.13 人（定点医療機関 54 定点）、前週よりわずかに減少しました。
- 岡山市、倉敷市、備前地域、美作地域で患者が多い状態です。

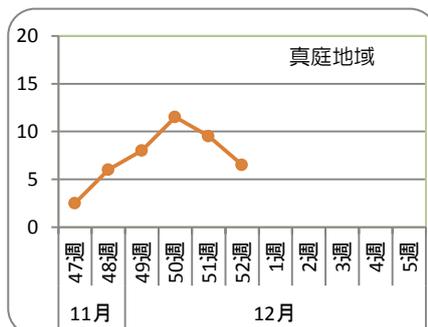
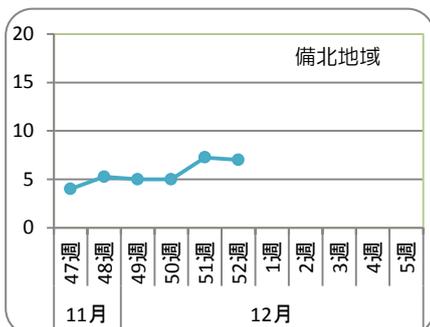
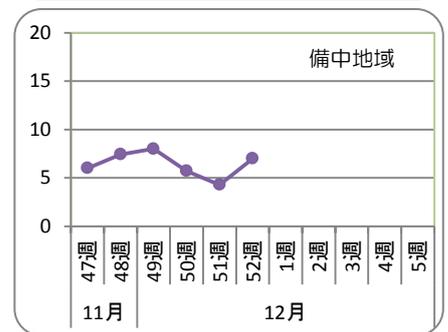
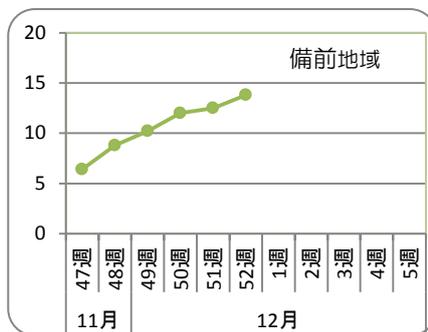
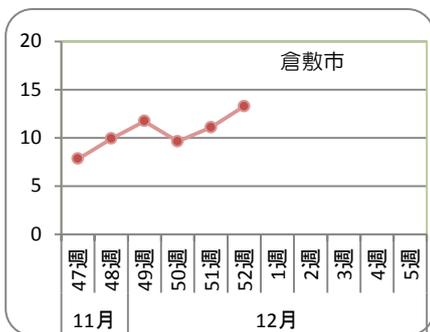
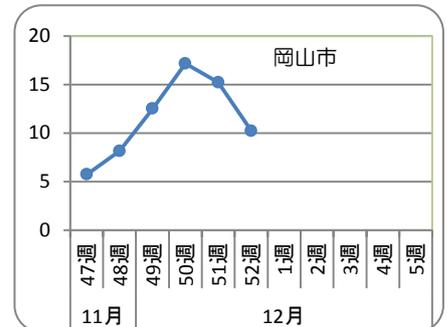
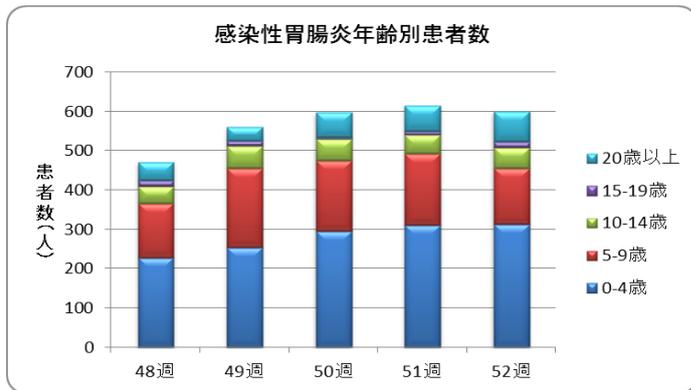


※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、今年 27 週～翌年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎の定点あたり患者数は、県全体では前週よりわずかに減少しました（定点あたり 11.41 → 11.13 人）。地域別では、岡山市（10.21 人）、倉敷市（13.27 人）備前地域（13.80 人）、美作地域（14.00 人）で患者が多い状態です。患者の年齢分布は 0-4 歳の低年齢層が約半数を占めています。小さなお子さんや、高齢者の方は嘔吐や下痢により脱水症を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

冬の集団発生事例の原因はノロウイルスによるものが多いと言われ、現在、岡山県では『食中毒（ノロウイルス）注意報』を発令し、食中毒予防を呼びかけています。手洗いを徹底するなど、感染予防に努めましょう。

- ノロウイルス感染症とその対応・予防（厚生労働省）
- ・[家庭等一般の方々へ](#)
- ・[医療従事者・施設スタッフ用](#)



保健所別報告患者数 2011年 52週 (2011/12/26～2012/01/01)

2012年1月5日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	747	8.89	60	2.73	479	29.94	66	4.40	110	9.17	9	1.50	12	4.00	11	1.10
RSウイルス感染症	44	0.81	21	1.50	13	1.18	3	0.30	2	0.29	1	0.25	-	-	4	0.67
咽頭結膜熱	6	0.11	2	0.14	-	-	-	-	1	0.14	3	0.75	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	24	0.44	2	0.14	7	0.64	-	-	14	2.00	-	-	-	-	1	0.17
感染性胃腸炎	601	11.13	143	10.21	146	13.27	138	13.80	49	7.00	28	7.00	13	6.50	84	14.00
水痘	81	1.50	25	1.79	20	1.82	19	1.90	8	1.14	1	0.25	2	1.00	6	1.00
手足口病	55	1.02	14	1.00	19	1.73	9	0.90	6	0.86	2	0.50	-	-	5	0.83
伝染性紅斑	6	0.11	1	0.07	2	0.18	1	0.10	1	0.14	-	-	-	-	1	0.17
突発性発疹	14	0.26	7	0.50	3	0.27	-	-	2	0.29	-	-	-	-	2	0.33
百日咳	1	0.02	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	0.02	-	-	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	46	0.85	18	1.29	10	0.91	3	0.30	13	1.86	1	0.25	-	-	1	0.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	0.17	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1.00	-	-
マイコプラズマ肺炎	2	0.40	1	1.00	-	-	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2011年 52週 (2011/12/26～2012/01/01)

2012年1月5日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	747	8.89	60	2.73	479	29.94	66	4.40	110	9.17	9	1.50	12	4.00	11	1.10
咽頭結膜熱	6	0.11	2	0.14	-	-	-	-	1	0.14	3	0.75	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	24	0.44	2	0.14	7	0.64	-	-	14	2.00	-	-	-	-	1	0.17
感染性胃腸炎	601	11.13	143	10.21	146	13.27	138	13.80	49	7.00	28	7.00	13	6.50	84	14.00
水痘	81	1.50	25	1.79	20	1.82	19	1.90	8	1.14	1	0.25	2	1.00	6	1.00
手足口病	55	1.02	14	1.00	19	1.73	9	0.90	6	0.86	2	0.50	-	-	5	0.83
伝染性紅斑	6	0.11	1	0.07	2	0.18	1	0.10	1	0.14	-	-	-	-	1	0.17
百日咳	1	0.02	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	0.02	-	-	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	46	0.85	18	1.29	10	0.91	3	0.30	13	1.86	1	0.25	-	-	1	0.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	0.17	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2011年 第52週 2011/12/26～2012/01/01)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	747	4	9	32	39	40	44	48	39	51	27	27	101	31	51	84	41	26	20	15	18

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	44	11	10	13	7	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	6	-	-	1	1	-	-	-	-	2	-	-	1	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	24	-	1	-	2	-	2	6	6	2	3	-	2	-	-
感染性胃腸炎	601	6	39	82	75	55	56	47	38	25	19	13	53	15	78
水痘	81	1	4	14	13	15	7	6	9	3	1	1	6	1	-
手足口病	55	1	2	19	13	10	3	-	1	3	-	-	1	1	1
伝染性紅斑	6	-	1	-	-	-	1	-	1	-	1	2	-	-	-
突発性発疹	14	-	7	4	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	46	-	-	5	8	8	9	5	3	5	1	1	1	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

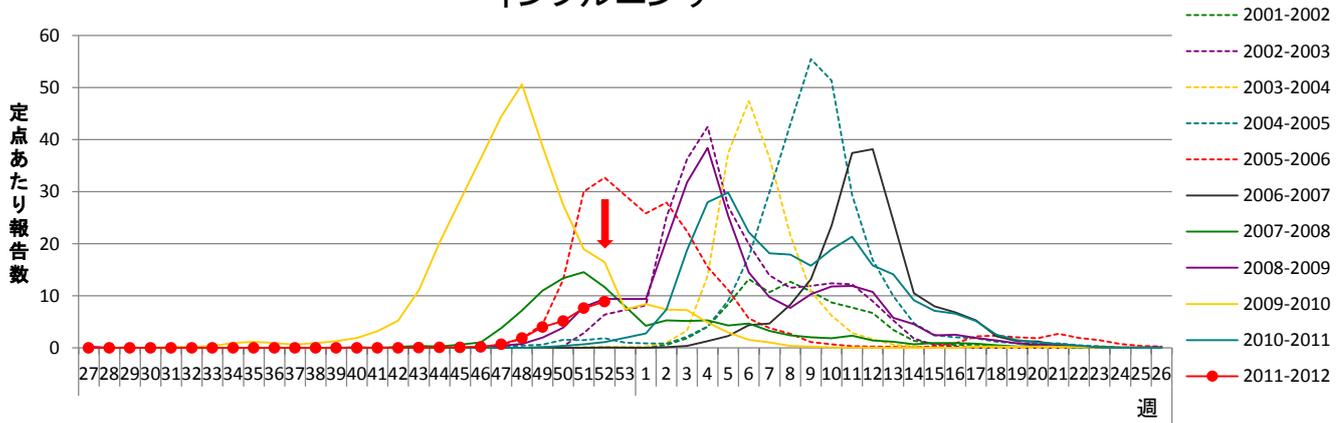
(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

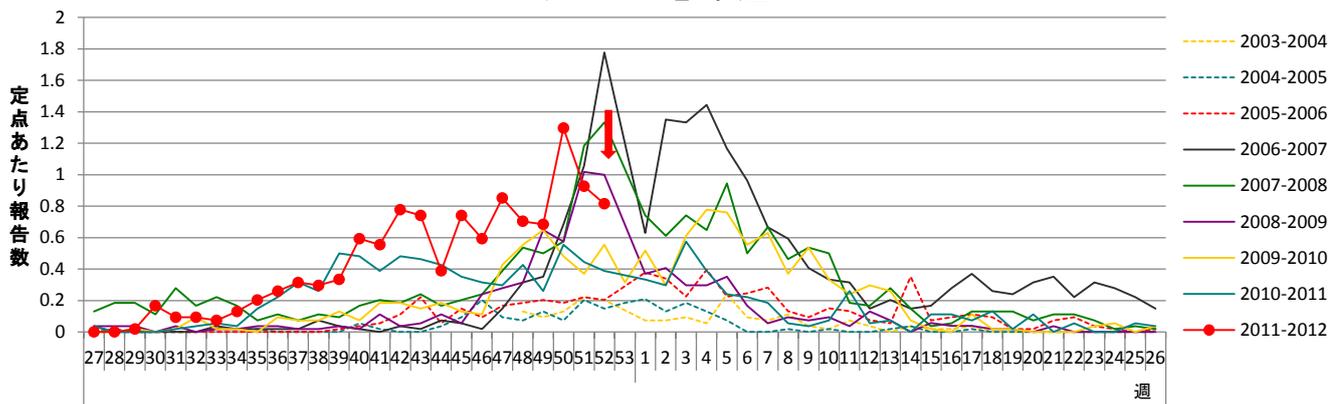
2011年 52週

分類	疾病名	2011		2010	疾病名	2011		2010	疾病名	2011		2010
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	-	498	352	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	1	-	腸管出血性大腸菌感染症	-	64	66
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	1	-	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	3	2
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-
	つつが虫病	-	3	1	デング熱	-	-	7	東部ウマ脳炎	-	-	-
	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-
	日本紅斑熱	-	3	-	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	1	-
	マラリア	-	-	-	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-
	レジオネラ症	-	36	19	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-
五類	アメーバ赤痢	-	10	13	ウイルス性肝炎*3	-	9	7	急性脳炎*4	-	3	1
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	2	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	1	1
	後天性免疫不全症候群	-	15	22	ジアルジア症	-	2	5	髄膜炎菌性髄膜炎	-	-	-
	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	-	9	9	破傷風	-	3	1
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	3	風しん	-	1	2
	麻しん	-	4	2		-	-	-		-	-	-

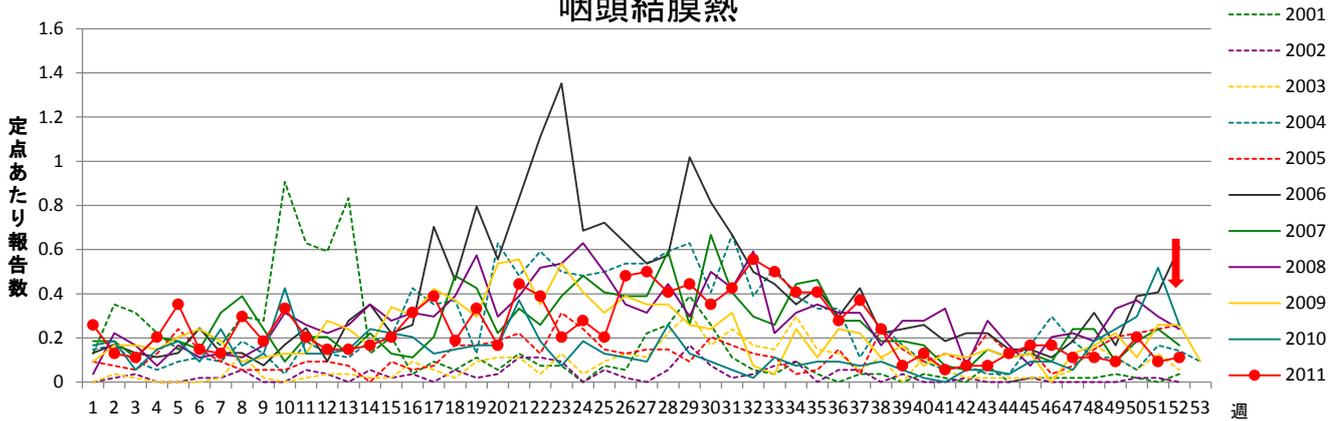
インフルエンザ



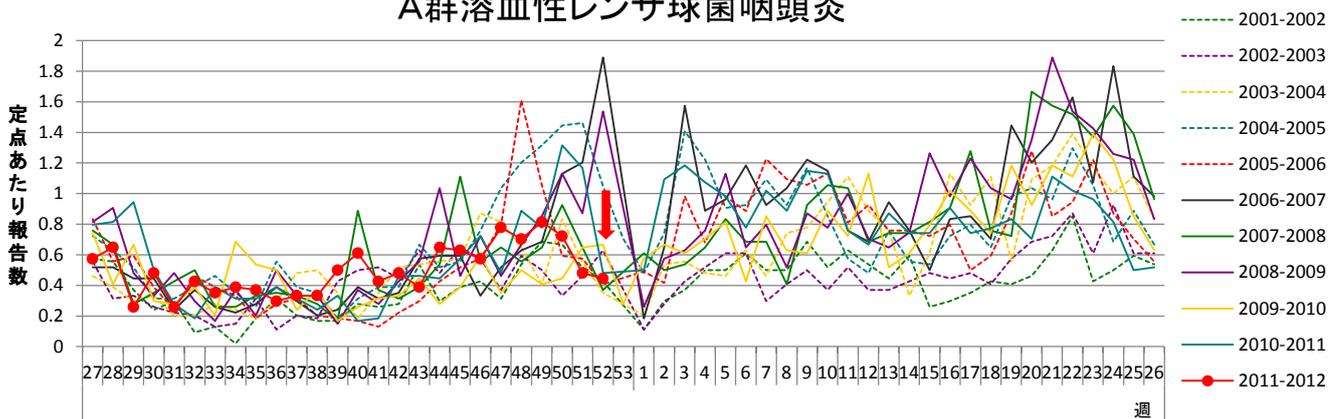
RSウイルス感染症



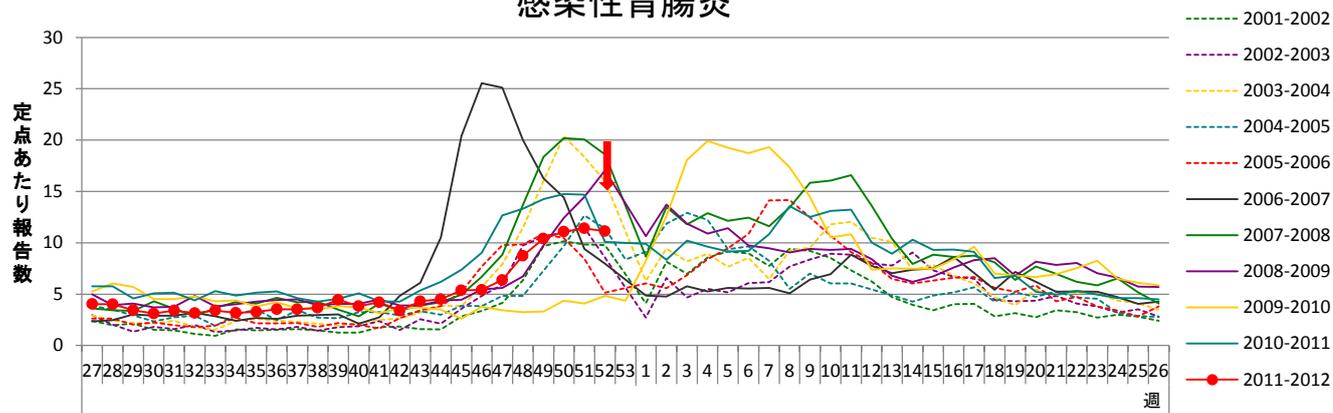
咽頭結膜熱



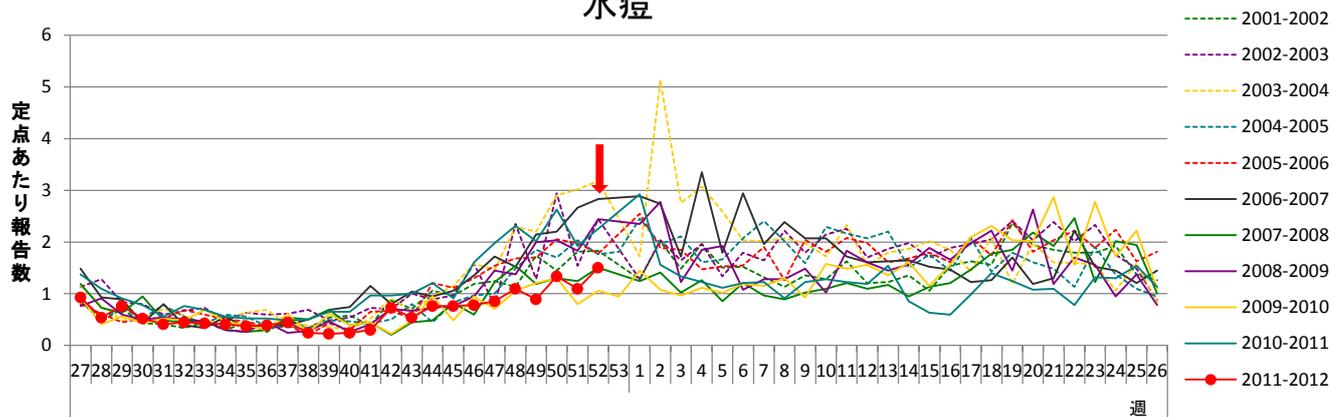
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



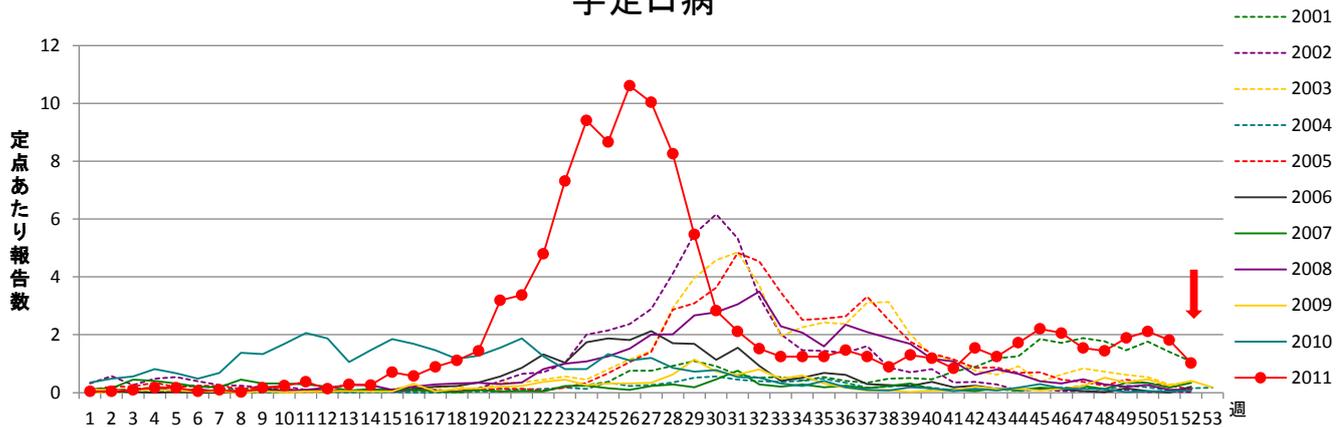
感染性胃腸炎



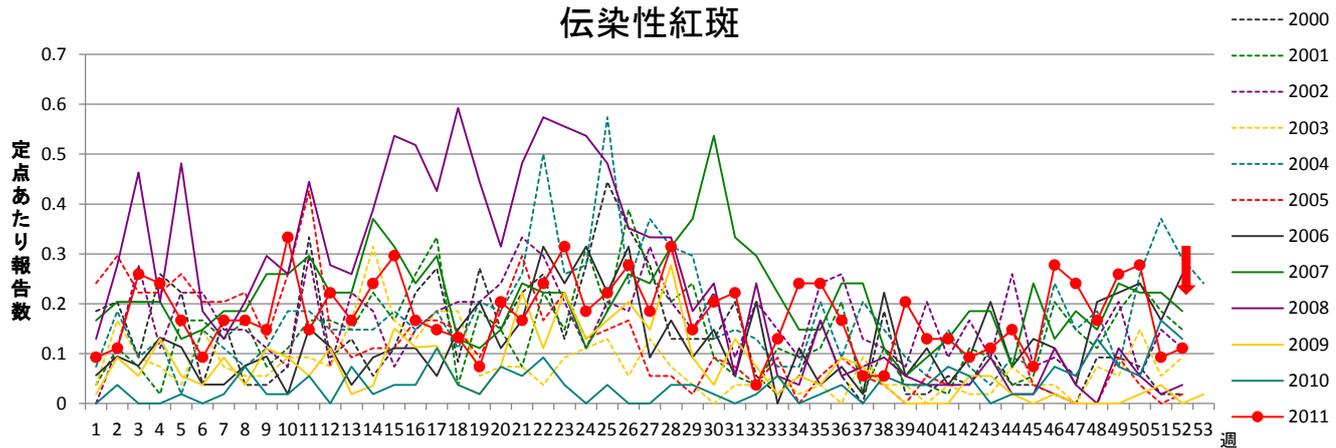
水痘



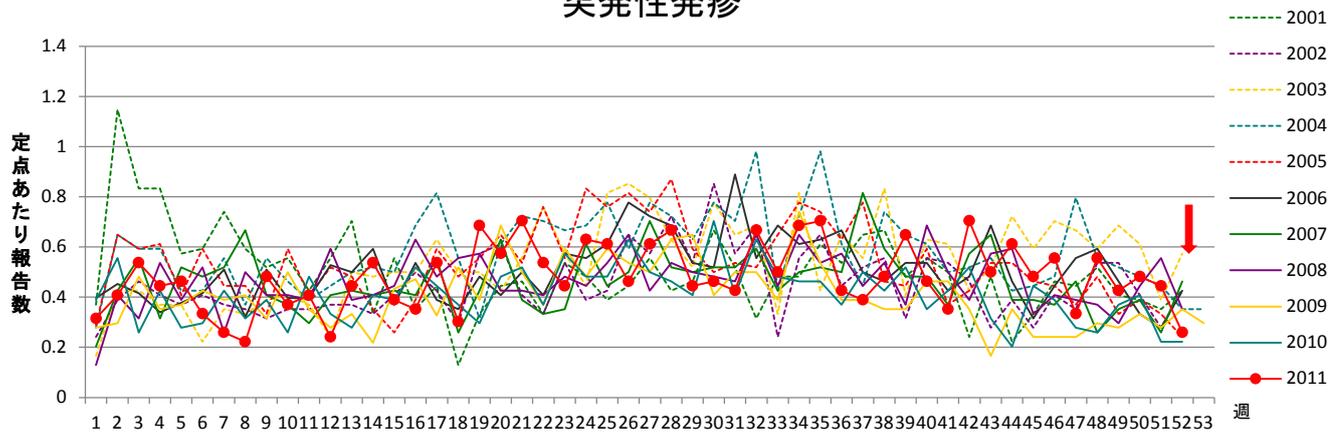
手足口病



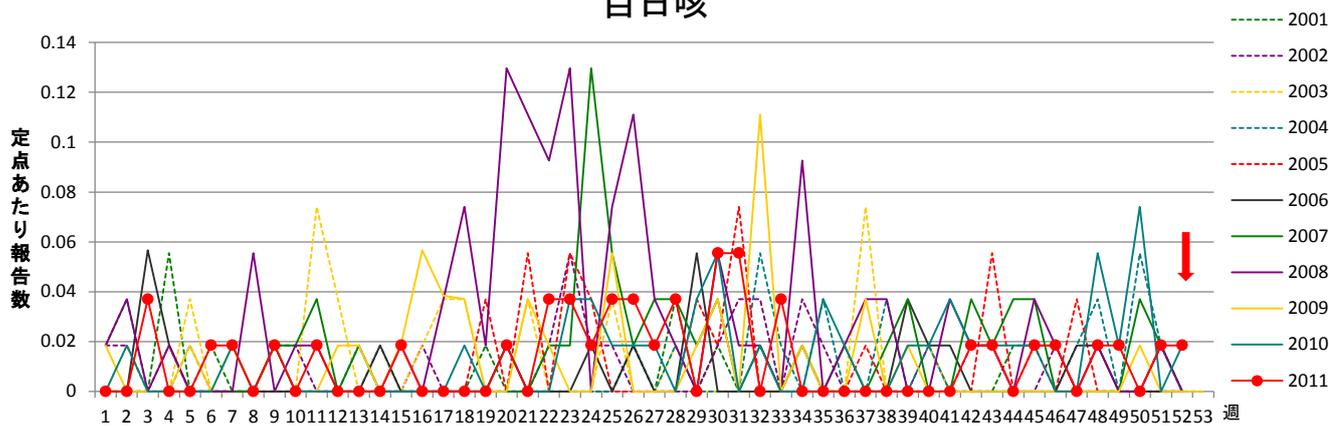
伝染性紅斑



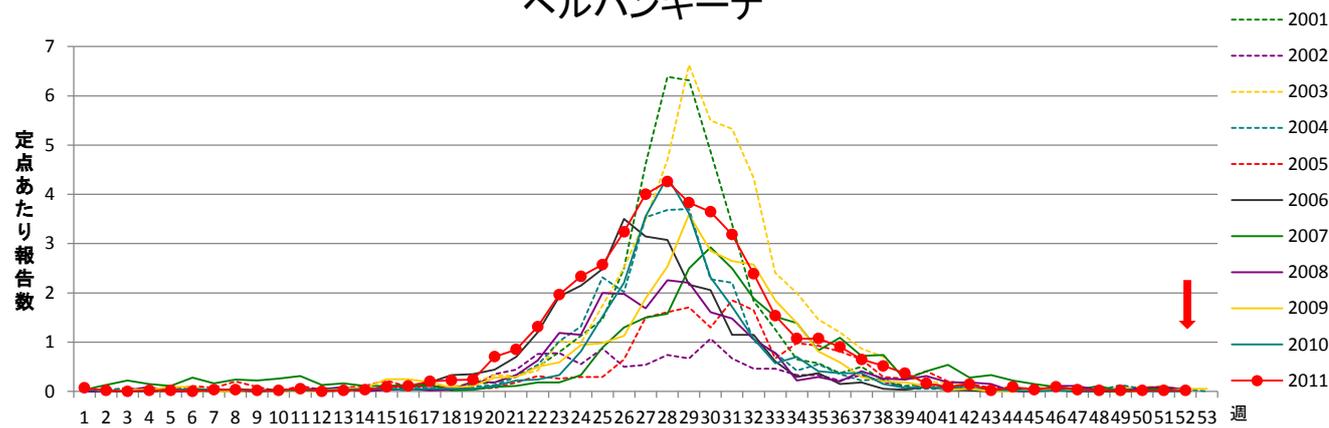
突発性発疹



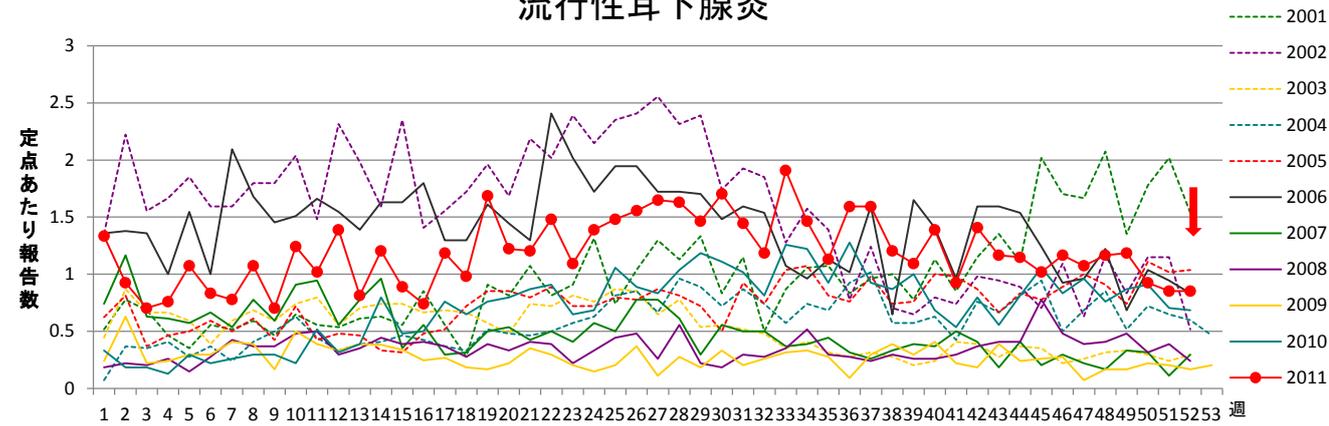
百日咳



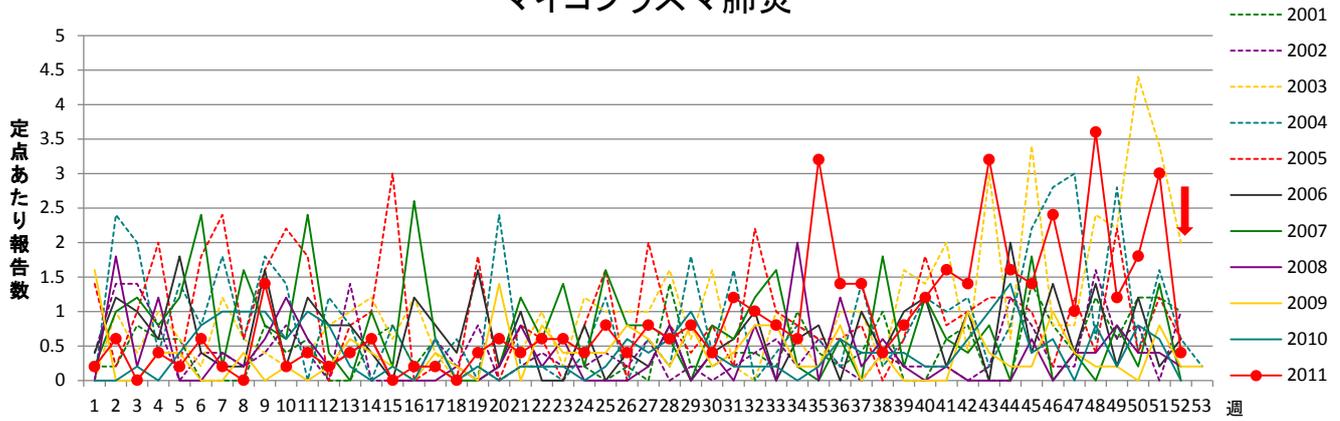
ヘルパンギーナ



流行性耳下腺炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎

